

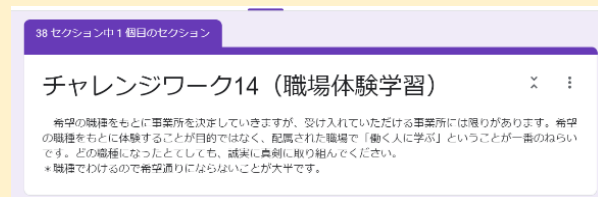
1人1台端末の活用による実践事例 （小・中学校用）

学校名	倉敷市立連島南中学校	実践者名	川原 悠
教科	総合学習	学年	第2学年
活用内容	チャレンジワーク 事業所希望調査 事業所調べ	実践日	第1～2学期
		授業活用段階 （岡山県版）	Stage 2
単元・内容等	Google サイト・Google Forms・Google スライドを活用した 倉敷チャレンジ・ワーク 14 の取組		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

【Google Forms を活用した事業所決定】

事業所希望調査を Google Forms を活用して行った。多様な事業所から生徒の希望を一度にとることができた。よって以前と比べて調査・集計・時間を大幅に短縮することができた。



【Google サイトを活用した事業所・職種内容調べ学習】

自分の配属される事業所について、Google サイトを活用して必要な情報（住所・電話番号・実際の店舗の様子・仕事内容）を調べた。これまでは、教員がある程度調べて伝えることが多かったが、生徒自身でできることが多くなった。



【Google スライドを活用した活動発表】

3日間のチャレンジワークでの活動を、Google スライド（10枚限定）にまとめた。そして、Google Classroom 内で課題を提出し、グループごとに発表した。クラウドで共有して分担して資料作りを行ったことで、例年以上に完成度の高い発表を行うことができた。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
端末やクラウドを活用することで、学習活動の効率化や生徒への効果的なプレゼン指導など、例年のチャレンジワークでは、時間が足りずにできなかったことも、スムーズに取り組むことができた。	（生徒の感想から） 「チャレンジワークで学んできたことを、分かりやすくまとめることができた。」 「もっと、スライドやドキュメントの機能を使えるようになりたい。」